

# 12月定例会 一般質問通告一覧表

2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	
減災対策	公共施設管理	子宮頸がん対策	入札におけるプロポーザル方式について	地球にやさしい環境について	農業基本条例と農業基本計画の策定について 学校教育環境の改善について	子ども医療費無料制度について 小郡市の歴史文化財に対する姿勢について	高齢者福祉について	市民税、国民健康保険税、下水道料等の 収納率アップについて	協働のまちづくりについて	高齢者向け福祉施設の建設について 道路建設について
田中雅光	百瀬光子	田代和誠	松村みやこ	新原善信	竹腰昭	城山雅朗	佐藤尚武	入江和隆	徳富正夫	

## 個人質問

### 道路建設について



徳富正夫議員  
(清和会)

東野校区公民館へのアクセス道路の建設促進について。これまでの経緯を引き継ぎ、建設管理課から道路建設課へ責任が移管されました。その後、第10回促進協議会が開催されましたが、進捗状況についてお尋ねします。

市長―平成24年の7月に東野校区公民館取り付け道路改良促進協議会において道路の基本的な線形について決定させて頂き、事業化に向けて進めているところとです。今後は平成25年度より社会資本整備総合交付金による通学路の整備事業として取り組んでいくことで、国に対して補助事業の採択要望を行っているところです。平成25年度以降の事業計画としては、道路の測量設計を行い、関係者への説明会を開催し、事業に対するご理解、ご協力を頂きながら、用地買収、物件移転、工事へ

と進めさせて頂きたいと考えています。

### 協働のまちづくりについて



入江和隆議員

①現在進行中の地域自治コミュニティ協議会設立準備については、協働の明確な定義、担い手の考え方など市民への説明が必要だと考えますが、いかがですか。②協働に関する基本条例の制定、市民向け協働ガイドブックの作成について。③地域の活動拠点として、余裕教室を利用した地域ボランティアセンター設立など早急に進めるべきと考えますが、いかがですか。

市長―①協働や補完性の原則の考え方について市内事業者の皆様も含めた市民の皆様にご理解頂けるように努めて参ります。  
総務部長―②今後小学校校区のコミュニティ協議会ができるもの、財源や権限等に関するものも含めて検討して参

ります。  
教育長―③協働のまちづくりを進めていく中で学校にボランティアセンターができる事は大変有意義で余裕教室の状況を見きわめながら検討します。



### 市民税、国民健康保険税、下水道料等の収納率アップについて



佐藤尚武議員  
(維新の会)

納税は国民の義務ですが本市においては不納欠損が市税、国保税併せて年間約1億円、滞納額が9億円以上あり、滞納者が4千7百人以上います。下水道料は滞納額が約1億円、滞納者が1千2百人以上います。真面目に納税している人

① 収納率アップ対策について。  
 ② 納税は義務であるという啓蒙への取り組みについてお尋ねします。

市長―①納税しやすいように口座振替の推進と平成26年度を目標にコンビニ納付の導入を考えています。又、差し押さえを重点的に行っており平成23年度は271件、約3千6百万円の市税を徴収しており、今後とも税の公平を堅持するため努力します。下水道料等については件数、滞納額とも増加しており、コンビニ納付、また収納課との一体徴収を考えています。

環境経済部長―②広報等により啓蒙を呼び掛けていきます。また、小中学生は納税の大切さや納めた税の使い方の教育、高校生は税の作文コンクール等の取り組みをしています。

### 高齢者福祉について



城山雅朗議員  
(清和会)

小郡市では老人福祉計画を策定していますが、①特別養

護老人ホームの待機者対策について。②見守り対象者の実数に適合した民生委員の配置について。③地域での福祉協力委員の設置について。④高齢者福祉を含む地域福祉の増進全般に関わる地区福祉協議会の設置について。⑤認知症サポーター講座の小・中学生の受講についてお尋ねします。

保健福祉部長―①第5期計画においてグループホーム27床、小規模特別養護老人ホーム29床の整備を計画しています。②区長会等と協議をして選任、配置を行っております。今後もしろんな状況を調査し協議をおこなっていきます。③福祉推進委員の制度化について来年度予定している地域福祉計画において協議していきたくと考えています。

市長―④協働のまちづくりの中で地域社協のような部会をつくる取り組みは必要だと思っております。

保健福祉部長―⑤小・中学校でも開催していきたいと考えています。

### 小郡市の歴史文化財に対する姿勢について



竹腰 昭議員  
(共産党)

小郡官衙遺跡は、現在まで中央一区の方々が年2回の草刈りを行ってこられました。高齡化の為、限界にきています。小郡官衙遺跡のうち、国指定史跡になって、公有地化されている部分のうち、公園として整備されず、雑草がはびこり立入禁止になっている箇所もあります。今後どのように管理していくのかお聞きします。

教育長―小郡官衙遺跡が国指定になって41年、現在では2万8千㎡あり、中央一区だけでなく周辺の区にも呼びかけ「小郡官衙遺跡を守る会」を発足し、会が所属するNPO「小郡市の歴史を守る会」に委託することで清掃等に從事する体制を整えました。遺跡を守るということは、その地域の人々の生活の中に遺跡が生かされていかなければならず、教育委員会としては公園の維持管理も大切ですが、大

切にしようという住民の意識を生むために小郡官衙遺跡の重要性を今後も市民に訴えていきたいと考えています。



▲小郡官衙遺跡

### 学校教育環境の改善について



新原善信議員  
(市民クラブ)

①学校のトイレの現状及び今後の改善計画についてお尋ねします。②夏の学校図書館及び教室の暑さ対策として図書館にエアコン、教室に扇風機を設置することについてお尋ねします。

教育長―①洋式トイレについては、ほとんどのフロアに最

低1カ所は設置していますが、一部ないところもあります。基本的にトイレの改修は大規模改造事業の中で全面的な改修を予定しています。また、状態の悪い箇所については、実施計画に位置づけて改修を行う予定です。②教室の暑さ対策としては、現在、遮熱カーテンや遮熱塗料、遮熱フィルムを設置しています。エアコン設置と教室への扇風機の設置については、学校や保護者からの要望もあり、今後検討していきたくと考えています。

### 地球にやさしい環境について



松村みやこ議員

第46回衆議院選挙において原発問題が争点の一つとなり、日本は脱原発、卒原発と原発に依存しない社会を目指しています。小郡市においても更なる省エネの推進を図り地球環境対策が必要とされます。①九州電力より電気料金の値上げ申請についての説明書が各家庭・事業所に配布されま

した。市の節電の取り組みについてお尋ねします。②燃えるごみのごみ袋は小さく薄いので破れやすく大変使いにくいとの声が多く聞かれます。ごみ袋の見直しについてお尋ねします。

市長―①導入可能性調査中の公共施設への太陽光発電設置の検討と住宅用の太陽光発電設置補助事業を今後も継続していきます。平成25年度は緑のカーテンの普及促進用にごみの種の市民配布なども検討しています。②ごみ袋の改善については、平成25年度の一般廃棄物処理計画評価見直しの時に、大きさ厚さについて要望に沿うような形で検討していきたいと思えます。



田代和誠議員  
(市民クラブ)

### 入札におけるプロポーザル方式について

昨年の12月、プロポーザル方式の積極的な導入と基本的なルールや実施要領等の作成を提案させて頂き、ちょうど1年が経ちました。前向きな

回答を頂いていましたので、その後の経過と今後の取り組みについて市長にお尋ねします。

市長―昨年より近隣自治体や先進自治体等の調査研究を行ってきました。現在、先進自治体の基準等も参考にしながら、基本となるプロポーザル方式の実施要領を作成している途中です。今年度中に作成しまして、新年度からの運用を予定しています。また、プロポーザル方式の実施要領を策定し運用することで無駄が省かれ、取り組みやすくなりますので、積極的なプロポーザル方式の導入を図っていきたくと考えています。



百瀬光子議員  
(公明党)

### 子宮頸がん対策

特定年齢の女子に対する子宮頸がん予防ワクチンの①接種の実施状況について。②接種率向上の為の取り組みについて。③子宮頸がん検診の取り組みについてお尋ねします。

市長―①平成23年3月より高校1年相当の女子、同年4月より中学1年相当から高校2年相当の女子、いわゆる特定年齢の女子に対して実施しています。

教育長―②市内、全中学校の3年生を中心に専門医を呼ぶでの性教育講座を実施しています。その中で子宮頸がんについての啓発とワクチン接種についての話をさせていただいています。また、保護者や教職員も対象にした研修を実施している中学校も増えてきている状況です。

保健福祉部長―③一般的な啓発としては、市の広報、ホームページで行っています。個別には、該当者の方に女性特有のがん検診の必要性や効果などを記載した検診手帳を送付しており、あわせて、無料クーポン券も同封しています。



田中雅光議員  
(公明党)

### 公共施設管理

全国的に高度成長期に建設された沢山の公共施設は、中・

長期的な視点から維持管理、コストについての把握、分析が進んでおらず、その必要性が指摘されています。そこで、①小郡市の公共施設の長期的な管理計画について再度見解を求めます。②現在の財政運営が長期的に続くとは考えにくく、少子高齢化に伴う財政運営の中で統廃合も視野に入れた施設管理について伺います。

市長―①当面は、現在取り組んでいる各施設ごとに個別の課題を探り、実施計画に基づく計画的な予算措置により大規模改修等を行いながら適正な維持管理に努めていきたいと考えています。②耐用年数や建設費用について長期的に考えていくことは財政面から効果があると思えます。各部署で持っている長期的な計画もある程度一本化していくことも必要だと感じているので、主要な施設について大まかな修繕計画を作ることは可能だと思っています。



▲小郡市体育館

### 小郡市議会会議録の閲覧ができます。

小郡市のホームページから、平成18年5月以降の市議会会議録が閲覧できます。なお、平成24年12月の市議会会議録は、平成25年2月下旬頃より閲覧できる予定です。

### 議会のインターネット中継がご覧いただけます。

小郡市のホームページから、本会議の生中継および平成22年9月議会以降の議会中継(録画)をみる事ができます。